あわてんぼペテロ

（２０１４年度『牧羊者』夏期学校教案）

「あなたは、わたしに従ってきなさい。」

（ヨハネ　２１・２２）

★ 第１課　罪に気づいたペテロ（ルカ５・１ ～１１）

★ 第２課　大失敗をしたペテロ（ルカ２２・４７～６２）

★ 第３課　やりなおしたペテロ（ヨハネ２１・１～１９）

二〇一四年度の夏期学校教案を制作できましたことを感謝いたします。

早速、教案について説明させていただきます。

一、内容について

今年度の夏期教案は二〇〇二年度のリソースを活用して作成しました。３回のメッセージと、それぞれにワークがあります。夏期学校は、小学生が主なメンバーになると思います。現在、通常のカリキュラムでは小学生向けに２種類のワークを用意していますが、今回の夏期教案では二〇〇二年当時の３種類を用意しました。下級（主に１～２年生向け）、中級（主に３～４年生向け）、上級（主に５～６年生向け）と、それぞれに主な対象を想定していますが、それにこだわらず、子どもたちの信仰、学年、理解力の程度に応じて、先生方が選んで用いてください。

二、カリキュラムについて

夏季学校は、子どもたちと共にゆっくり話し合うことのできる、数少ない機会です。この時間を利用して、罪の自覚と悔い改め、そして献身へと導くことができれば、何と幸いでしょうか。

今年度の教案の第１課は、神の前に出るとき、罪が明らかにされることを学びます。そして第２課では、その罪を認めて悔い改めるなら赦されることを、はっきりと知らせます。そして第３課で、悔い改めた者こそが、神様に用いられることを教えます。一人一人の子どもが神様とお会いできるよう、祈りましょう。

沢村五郎著『聖書人物伝』の「シモン・ペテロ」の章も参考になります。一度目を通しておいてください。

三、執筆担当者

今回は、二〇〇二年度の夏期教案をもとに作成いたしました。当時の執筆者の先生方が、快く原稿の使用や修正を許可してくださり、またご監修くださいました。心より感謝いたします。

メッセージ例　鎌野善三師

下級ワーク　仁科千永子師

中級ワーク　長谷川宣恵師

上級ワーク　和田治師

最後に、各教会のバイブルキャンプ・夏期学校の上に、祝福をお祈りいたします。

教会教育室長　中島啓一

第一課　罪に気づいたペテロ
聖　書　ルカ５・１～11
中心聖句「わたしから離れて下さい。わたしは罪深い者です。」
（ルカ５・８）
目　標　自分の心の中には、罪があることを発見する。

導　入

「鏡よ鏡、世界で一番美しいのはだーれ？」というお話、知っていますね。鏡は本当のことを言ったので、お妃は怒ってしまいました。また、学校でレントゲン写真を撮ったことがありますね。からだの中のようすを写すのです。それで、病気がどうかわかるんですよ。もし、心の中のようすを写せる機械があったらどうでしょうか。「あなたの心は真っ黒だ」って言われたら、腹をたてて機械をけとばす人がいるかもしれません。

ストーリーを語る

イエス様のお弟子で、ペテロという人がいたのを覚えていますか。この人はもともと漁師で、毎日毎日、ゲネサレ湖（ガリラヤ湖のこと）でお魚をとっていたのです。ところが、夜中じゅう働いたのに、１匹の魚もとれないときがありました。からだはぐったりと疲れていました。でも、網だけは手入れしておかなくてはならないので、岸で網を洗っていたのです。

そこへイエス様が来られ、ペテロに、「舟に乗せてください。そしてちょっとこぎ出して、舟の中からお話をさせてください」と頼まれました。たくさんの人々が、イエス様のお話を聞くために岸辺に集まっていたからです。ペテロは、有名な先生の頼みですから、引き受けました。

お話が終わったときのことです。イエス様はペテロに「沖へこぎ出し、網をおろして漁をしてみなさい」と言われました。ペテロはちょっとおもしろくありません。だって、ペテロは魚とりのプロ。イエス様は大工で漁のことなど何も知っていないのに、偉そうにそんなことを言うからです。普通なら漁は夜の間にするものです。ペテロは、「先生、わたしたちは夜通し働きましたが、何も取れませんでした」と文句を言ったのですが、やはり偉い先生ですから、「しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましょう」としぶしぶ返事しました。「どうせ取れないのにな」とか、「これで取れなければ、イエス様は恥をかくだろう」とか、思っていたかもしれません。

しかし、網を引き上げようとすると、重くて重くて。よく見ると、網の中ははち切れそうなほどたくさんの魚でいっぱいではありませんか。思わずもう一そうの舟にいた仲間に、「おーい。早く来てくれ。助けてくれ」と大声で叫んだのです。イエス様は、にっこり笑っておられました。

このとき、ペテロは自分こそ偉そうにしていたことに気づきました。イエス様は、魚のいる場所を知っておられるだけでなく、自分の心の中も全部ご存じだとわかったのです。自分が今までしてきた悪いことも、イエス様はみんな見抜いておられるに違いないと思いました。ですからひれ伏して、「主よ。わたしから離れてください。わたしは罪深い者です」と言ったのです。

学ぶべき真理

皆さんは、イエス様はみんなの心の中までお見通しであることを知っていますか。今日、イエス様に会ったら、「こんにちは。イエス様」って、あいさつできますか。それとも、「イエス様に心の中まで見られたら恥ずかしい」って思い、どこかにこそこそと隠れてしまいますか。でも、隠れたら、自分の心の中の悪いことは消えてしまうでしょうか。いいえ、いつまでも残ります。

生活への適用

夏期学校へ来てても、「あの子は大嫌いだ」とか、「聖書のお話なんか早く終わって、ゲームにならないかな」って思っていませんか。イエス様は、この夏期学校にも一緒におられますよ。「イエス様って見えないから、いないんだ」と思ったら大間違いです。皆さんが今までしてきた意地悪や、うそや、友だちのものを取ったことなど、みんな知っておられるのです。

結論

「わたしは罪深い者です」と言ったペテロに、イエス様は「今からあなたは人間をとる漁師になるのだ」と言われました。イエス様は、自分に罪があると気づくことを喜ばれます。そして、そういう人を、イエス様の働きのために用いてくださるのです。ペテロのようになりましょう。

第二課　大失敗をしたペテロ
聖　書　ルカ22・47～62
中心聖句「あなたは三度わたしを知らないと言うだろう。」
（ルカ22・34）
目　標　失敗したときには、すなおに悔い改めるべきことを発見する。

導　入

学校で給食やお弁当を食べる前に、お祈りをしますか。なかなか勇気がいることですね。友だちに、「ぼくは教会に行っているよ」というのも、むずかしいかもしれません。それなら、イエス様を信じているなら殺されるかもしれないときに、「わたしはイエス様を信じている」と言うのはどれだけ大変なことでしょうか。

ストーリーを語る

イエス様の弟子になったペテロは、3年ほどイエス様と一緒に生活し、12弟子の親分のようになって、みんなをまとめていました。ある時は、水の上を歩いておられたイエス様にお願いして、自分も水の上を歩いたのですが、途中で恐くなって沈みかけたこともありました（マタイ14章）。また、十字架にかかることを話されたイエス様に、「そんなことがあるはずはございません」といさめ、イエス様に叱られたこともありました（マタイ16章）。いつでも一生懸命でしたが、よく失敗する「あわてんぼペテロ」でした。

十字架にかけられる前日の夜のことです。イエス様と弟子たちは一緒に食事をしていました。そのときイエス様は、ユダの裏切りによって自分が逮捕されることや、その後、弟子たちはみんな逃げてしまうことをすべてご存じで、それをペテロに告げられたのです。ペテロは、「主よ。わたしは獄にでも、また死に至るまでも、あなたとご一緒に行く覚悟です」と、本気で答えました。けれどイエス様は、「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」と静かにおっしゃったのです。

食事の後、全員でオリブ山に出かけました。そこへユダが祭司長たちを引き連れて現われ、イエス様を捕らえました。ペテロは一度は逃げてしまったのですが、やはりイエス様が心配で、裁判が行なわれている大祭司の邸宅へ、知らぬ顔をしてはいり込んだのです。でも、ある女の人が、「この人はイエスと一緒にいました」と言ったとき、あわてて「わたしはその人を知らない」と答えました。しばらくして別の人が「あの仲間のひとりだ」と言ったときも、その1時間後にまたほかの人が「たしかにこの人もイエスと一緒だった」と言ったときも、「ちがう」と言い切りました。

ちょうどそのとき鶏が鳴き、裁判を受けられていたイエス様は、振りむいてペテロを見つめられたのです。その目は、「ペテロ。わたしの言ったとおりだろう。でも、そんな弱いあなたを愛し、あなたのために今から十字架にかかるんだよ」と言っているようでした。ペテロは、その場にいたたまれなくなり、外に出て激しく泣きました。

学ぶべき真理

どんなに強がりを言っても、私たちは弱い者です。しかしイエス様は、どんなに弱い者であっても、決して見捨てられません。かえって、弱い者を愛して、立ち直る力を与えてくださるのです。イエス様は今も、「あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った」（32節）と言ってくださっています。

大切なのは、失敗したときでも、イエス様のことばを思い出すことです。そして、ありのままで「イエス様、ごめんなさい」と悔い改めることです。本当に悪かったと気づいたら、涙が出てきても不思議ではありません。

生活への適用

今までずっと教会学校に来ていたお友だちも多いでしょう。赤ちゃんのときから、親に連れられて来ている人もいますね。でも、教会に行っていることや、イエス様を信じていることを、隠したりしていませんか。「神様なんかいない」と思ったことはありませんか。イエス様は、そんな人でも愛し続けておられます。失敗から立ち直る力が与えられるよう、祈ってくださっています。

結論

今までも、今からも、失敗しない人はないことでしょう。しかし失敗しても、イエス様は決してあなたを忘れられません。だから、失敗したときにはすぐに、イエス様のことばを思い出して、素直に悔い改めましょう。

第三課　やり直したペテロ
聖　書　ヨハネ21・1～19
中心聖句　「わたしに従ってきなさい。」
（ヨハネ21・19）
目　標　悔い改めた人を、神様は再び用いられることを発見する。

導　入

かけっこのとき、ころんでしまったことはありませんか。そのあと、泣きながらでも最後まで走ったでしょうか。テストで悪い点をとったことがありますか。そのあと、もう一度勉強し直して、その次には良い点になったことはどうですか。失敗をしても、そのままで終わるのではなく、もう一度やり直す気持ちをもつことは大切ですね。

ストーリーを語る

ペテロは、イエス様を三度も知らないと言うような大失敗をしました。「イエス様、ごめんなさい」と悔い改めましたが、「自分は大きな罪を犯してしまった」という気持ちがいつもあったのです。だから、復活されたイエス様と会った後も、まだ「自分はだめだ」と思っていました。

ペテロと仲間の弟子たちは、イエス様が「ガリラヤに行け、そこでわたしに会えるであろう」と言われた言葉（マタイ28・10）に従って、故郷のガリラヤに帰りました。そこにはなつかしいテベリヤ湖が横たわっています。ペテロは昔を思い出して、「わたしは漁に行くのだ」と他の弟子たちに言うと、仲間も「わたしたちも一緒に行こう」と答え、みんなで夜通し漁をしました。ところがなんの獲物もなかったのです。全員はらぺこで、ぐったりしていました。

夜明け頃、だれかが岸から「何か食べるものがあるか」と大声で叫びます。「ありません」と答えると、「舟の右の方に網をおろして見なさい」と言うのです。不思議に思いながら、そのようにすると、なんと網を引き上げることができないほどの大漁でした。ペテロは、「あれ。これと同じようなことが、昔あったな」と思っていると、仲間のヨハネが「あれはイエス様だ」と叫びます。そこでペテロは、それまで裸で漁をしていたのにわざわざ上着を着て湖にとびこみ、急いでイエス様に会いにいったのです。本当にペテロはあわてんぼですね。

イエス様は岸辺で食事の用意をして待っていてくださいました。他の弟子たちもみんなそろって食事をした後、イエス様はペテロに、「あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか」と尋ねられました。ペテロはすぐに「そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです」と答えます。イエス様はにっこりと笑い、「わたしの小羊を養いなさい」とペテロに命じられました。しばらくの後、これと同じことがもう一度繰り返されます。そしてさらにもう一回、イエス様は同じ質問をされました。ペテロは三度も同じことが繰り返されたので、「イエス様は、私が三度イエス様を知らないと言ったことを恨んでおられるのだろうか」と早合点したのかもしれません。心が痛くなりました。でもこれは、ペテロが死に至るまで神様のために働くことを示すために、イエス様があえて言われたことでした。そして最後に、「わたしに従ってきなさい」と、ペテロを力づけられたのです。

学ぶべき真理

イエス様は、あわてんぼのペテロ、失敗ばかりしているペテロでも、決して見捨てなさいませんでした。どんなときでも、ペテロを愛し続けておられたのです。ペテロも「わたしはあなたを愛します」とお答えすることが必要でした。イエス様を愛していれば、たとえどんなに苦しいときでもイエス様に従っていくことができるからです。

生活への適用

かけっこで負けても、テストが悪くても大丈夫です。失敗しても、イエス様はみんなを愛してくださっています。そのイエス様を裏切ることがあったなら、必ず心が痛みます。そのときは、素直に悔い改めましょう。そしてもう一度、「イエス様、わたしはあなたを愛します」とお祈りしましょう。イエス様は今日もあなたに命じておられます。「わたしに従ってきなさい」と。

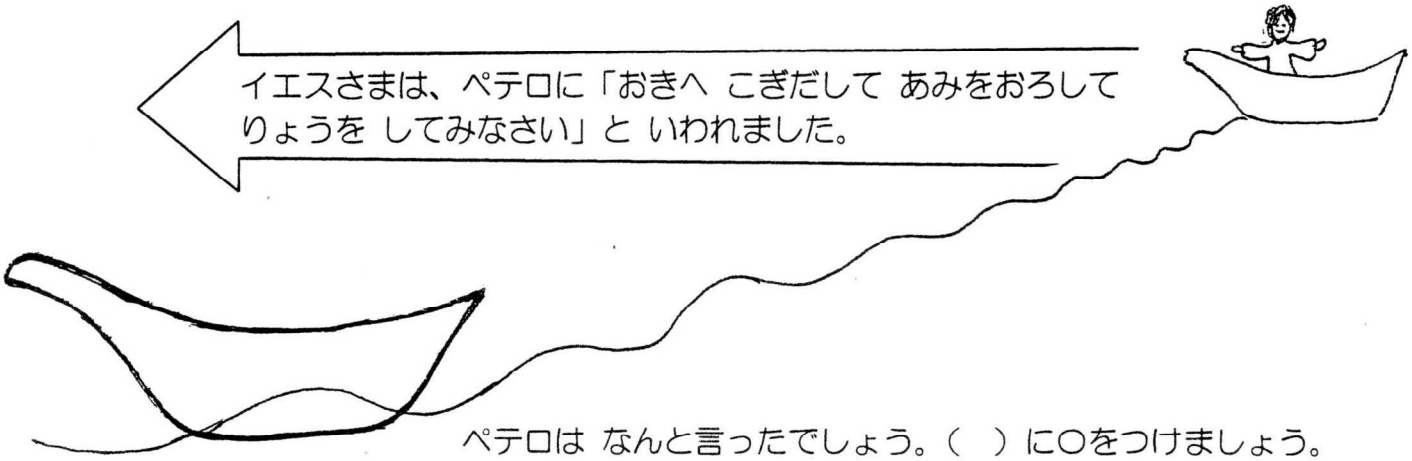
結論

皆さんも「あわてんぼ」って言われたことがあるかもしれません。イエス様のことを忘れて、悪いことをしたことがあるかもしれません。でも、悪かったことを悔い改めて、もう一度やり直しましょう。イエス様に従うなら、必ずできます。

下級

第１課　罪(つみ)に気(き)づいたペテロ　ルカ５・１－11

イエスさまは、あさはやく、おおくの人々(ひとびと)に、はなしを されるために、きしから すこし はなれたところに、ふねを こぎだされました。



イエスさまは、ペテロに「おきへ こぎだして あみをおろして りょうを してみなさい」と いわれました。

ペテロは なんと言ったでしょう。（　）に○をつけましょう。

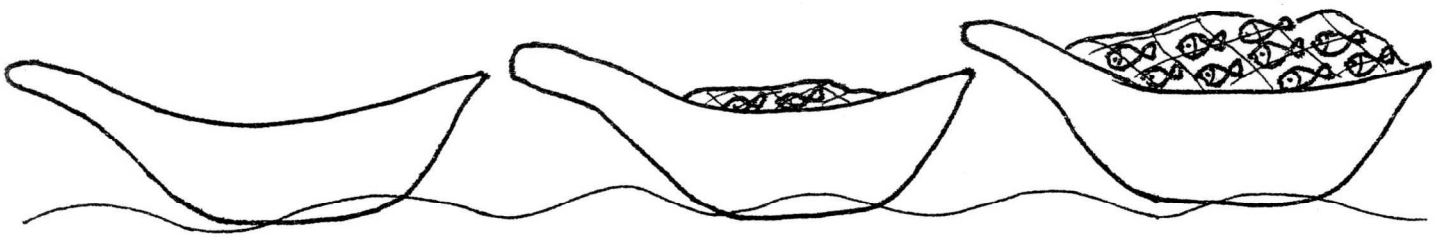
（　　）よどおし はたらいても、なにもとれませんでした。もうイヤです。

（　　）さかなは、よるに いちばんたくさんとれます。あさではムリです。

（　　）しかし、おことばですから、あみをおろしてみましょう。

あみを おろしたら、どうなったでしょう。

（　　）　　（　　）　　（　　）



「主(しゅ)よ。わたしから離(はな)れてください。わたしは（　　）者(もの)です。」

（ルカ５・８）

ペテロは、「イエスさまは、さかなのいるところを しっておられる だけでなく、じぶんの こころの中も、いままで してきた わるいことも、ぜんぶ しっておられるにちがいない」と おもいました。

イエスさまは、じぶんに**つみ**があることに きづくことを よろこばれます。そう きづいた ひとを（　　）の はたらきに もちいてくださいます。

下級
第２課

大失敗をしたペテロ

ルカ２２・４７－６２

じゅうじかに かかられる まえの日に、イエスさまと でしたちに おこった できごとです。おこった じゅんばんに（　　）に ばんごうを いれましょう。

（　　）

ペテロ
「しゅよ、わたしは、ごくにでも、また、死にいたるまで、あなたといっしょにいく かくごです。」

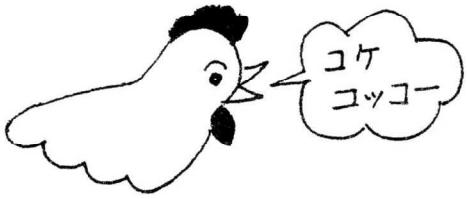
（　　）

イエス
「きょう、にわとりがなくまでに、あなたはさんど、わたしを しらないと いうであろう。」

あなたは□ど、わたしをしらないと言うだろう。（ルカ22・34）

イエスさま、　　ごめんなさい

（　　）
イエスさまが、とらえられたとき、そっと うしろからついていった ペテロに、あるひとが、「このひとは、イエスと いっしょにいました」といいました。ペテロは、「わたしは、そのひとを しらない」と いいました。それが、もう２かい、くりかえされました。
そのとき、



と、なきました。

（　4　）
イエスさまは、ふりむいて、ペテロを みつめられました。「ペテロ。わたしのいったとおりだろう。でも、そんなよわい あなたを あいし、あなたのために、わたしは、いまから じゅうじかに かかるんだよ。」と イエスさまはいっておられるようでした。

しっぱいしたときでも、イエスさまのことばを おもいだして、「ごめんなさい」と言えるようになりましょう。イエスさまは、けっして あなたを みすてられません。かえって、くいあらためた あなたを、あいしてくださいます。

下級

第３課　やりなおしたペテロ　ヨハネ２１・１－１９

よみがえられた イエスさまの ことばに したがって、でしたちは ガリラヤ湖に かえりました。そこで、イエスさまに おであいしました。

イエス

「あなたは、このひとたちが あいする いじょうに わたしを あいするか。」

ペテロ

「そうです。わたしが あなたを あいすることは、あなたが ごぞんじです。」

イエスさまは、さんど、おなじことを 言われました。

わたしの（　　）を（　　）なさい。

わたし の 羊（　　）なさい。

わたしの 羊 を（　　）なさい。

「わたしに（　　）なさい。」ヨハネ２１・１９

わたしたちも、「イエスさま、わたしは あなたを あいします。」と、おいのりしましょう。
イエスさまは、きょうも あなたに めいじられます。
「わたしに したがって きなさい。」と。

中級 第１課 罪に気づいたペテロ

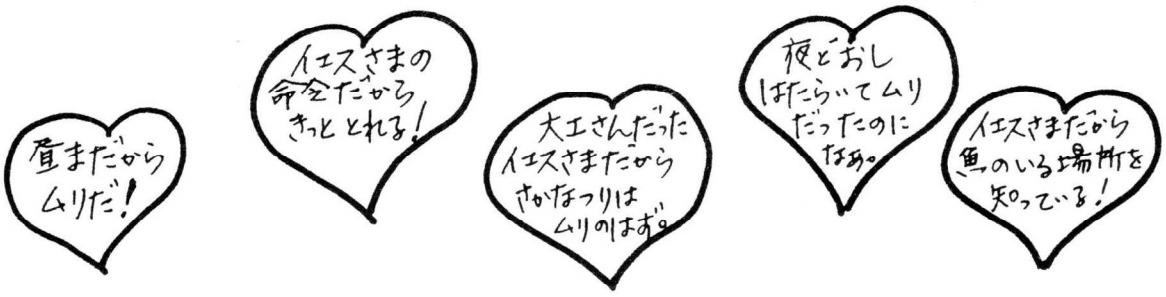
ルカによる福音書５章１－１１節

１．お話をおもいだして、関係のあることばを見つけ、◯でかこみましょう。

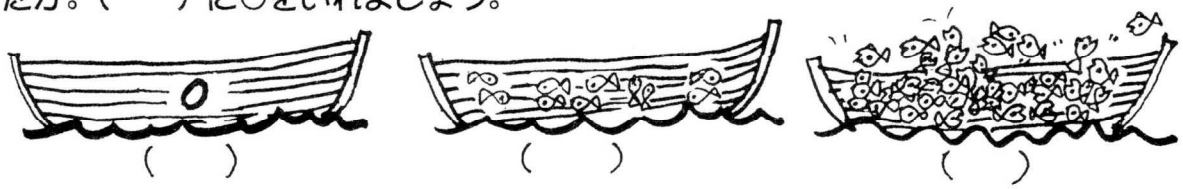
（たて、よこ、ななめを見てね。６こあるよ。）

ゲ	ネ	サ	し	湖	か	と	イ
わ	の	ペ	べ	ん	と	う	エ
ひ	り	ポ	テ	チ	き	ふ	ス
あ	ん	ば	ん	ロ	ね	ぎ	さ
み	ご	り	ょ	う	し	そ	ま

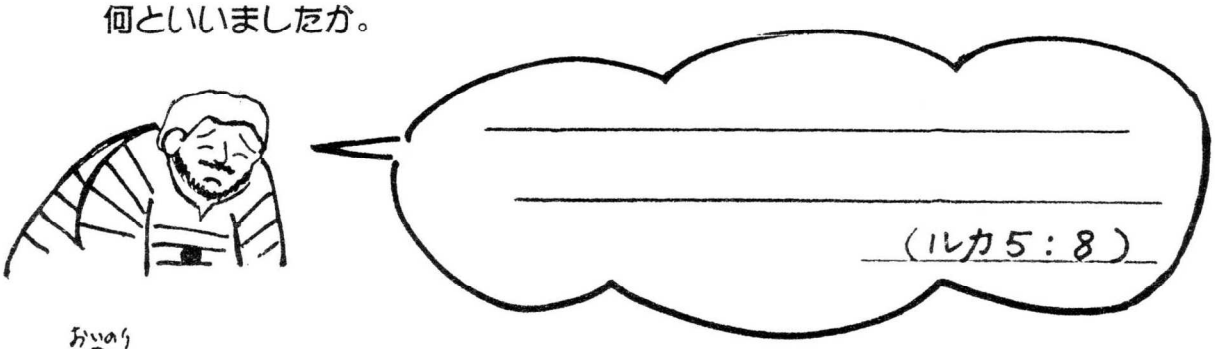
２．イエスさまに、「あみをおろしてみなさい」と言われたとき、ペテロさんは、心の中で、どんなことを思っていましたか。あっている気持ちの♡に、色をぬりましょう。



３．それでもイエスさまの言われるとおりにあみをおろしたペテロさん。結果はどうでしたか。（　　）に○をいれましょう。



４．イエスさまは、なんでも見ぬいておられることを知ったペテロさんは、イエスさまに何といいましたか。



おいのり

なんでも知っておられるイエスさま、罪ふかい私をゆるして、イエスさまのお手伝いができるように助けてください。アーメン。

中級 第２課 大失敗をしたペテロ

ルカによる福音書２２章４７－６２節

1．きょうのお話を思い出して、下の文章を完成させましょう。答えは ◯ から選んでください。

イエスさまが十字架にかかられることを聞いた □ は、「 □ よ、わたしは死ぬまであなたといっしょに行きます」と言いました。イエスさまはそんなペテロに、「きょう、 □ が鳴くまでに、あなたは □ 、わたしを知らないと言うだろう。」とおっしゃいました。ペテロはそのあと、 □ 、「イエスさまを知らない」と言ってしまいました。

三度、鶏（にわとり）、ペテロ、主

2．うらぎってしまったペテロを、イエスさまはどうされましたか。

（　　）大声でどなられた。

（　　）やさしく見つめられた。

（　　）近くによって、手をつながれた。

3．ペテロは、やさしいイエスさまの 👁 を見たとき、外に出て、大声で泣きました。そのときのペテロは、どんな気持ちだったでしょうか。

おいのり ⑦ イエスさまは、どんな失敗もゆるしてくださることを感謝します。イエスさまを悲しませることがないように、いつも守ってください。失敗したときには、すぐに「イエスさまごめんなさい」とあやまれるようにしてください。アーメン。

中級 第３課　やりなおしたペテロ

ヨハネによる福音書２１章１－１９節

１．きょうのお話を思いだして、ただしいほうに○をいれましょう。

ペテロはイエスさまを｛（　　）５回 / （　　）３回｝も「知らない」と言ってしまいました。

イエスさまはゆるしてくださいましたが、ペテロは心をいためていました。

ある日のこと、ペテロは故郷にもどって、｛（　　）漁師 / （　　）大工｝を始めました。

でも、なかなかとれません。すると、「舟の右のほうに網をおろしてみなさい」

という声がしました。そのとおりにすると、｛（　　）魚がいっぱい / （　　）魚が３ひき｝とれた

のです。それは、｛（　　）イエスさま / （　　）漁師の親分｝の声だったのです。イエスさまに、

急いで会いにいったペテロがびっくりしたのは、イエスさまが岸辺で

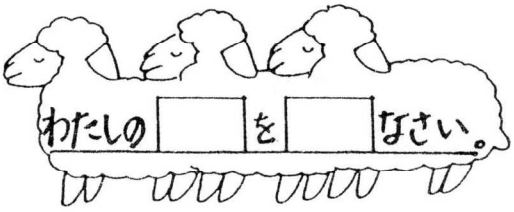
｛（　　）ふとんの用意 / （　　）食事の用意｝をしてくださっていたことでした。

２．３度もイエスさまをうらぎってしまったペテロに、イエスさまはすばらしい質問をされました。どんな質問を、何回されたでしょうか。

○○○

×　　回

３．「イエスさま、わたしはイエスさまを愛します！」と、３回答えたペテロに、イエスさまは何と言ってくださいましたか。それはどういう意味ですか。



意味

おいの。イエスさま、失敗をゆるして、やりなおさせてくださることを感謝します。私にも、イエスさまのお手伝いをさせてください。アーメン。

上級 第１課　罪に気づいたペテロ

聖　書　ルカ５：１～１１　　暗唱聖句　ルカ５：８

☆一番下の聖句をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう!

①あなたは今までに、だれかから自分の心を見すかされているように感じて、「ドキッ」としたことがありますか。そのときのことを思い出して、どんなふうに感じたか書いてみてください。

②魚とりのプロであるペテロに、魚とりのことを何も知らないはずのイエス様が 4 節のように言いましたね。ペテロはどう感じたと思いますか?　そして、あなたがペテロなら、どう思いますか？

③5～7 節を読んでみましょう。・・・取れるはずがないと思っていたのに魚がいっぱい取れました。このとき、

・ペテロは、イエス様のことをどう思ったでしょうか

・ペテロは、自分自身のことをどう思ったでしょうか

④8 節を読んでみましょう。・・あなたがペテロの立場なら、同じように言いますか？　＊はい　＊いいえ

それは、なぜですか？

⑤あなたの心の中を、イエス様に、今、じーっと見られたら、あなたはうれしいですか。それとも、恥ずかしいですか。どんなふうに感じますか。　それは、なぜですか？

⑥ペテロが「わたしは罪深い者です」というと、イエス様は 10 節の後半のように答えてくださいました。このことから考えて、下の（　　）の中に入ることばを書いてみましょう。

・イエス様は、ペテロのように、自分の(　　)を(　　)人を喜んで、もちいてくださる。

⑦聖書には、誰にでも罪がある、と書かれています。あなたが「自分の心の中に罪がある」とみとめたなら、イエス様はそのことを喜ばれるでしょうか。それとも、罪があると知ってがっかりなさるでしょうか。

⑧今あなたは、「わたしは罪深い者です」と心から思いますか？　＊はい　＊いいえ　＊わからない

♪「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です。」
※「主よ。私のような者から離れてください。私は、罪深い人間ですから。」
☆「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです。」

♪口語訳聖書　※新改訳聖書　☆新共同訳聖書

上級 第２課　大失敗をしたペテロ

聖　書　ルカ２２：４７～６２　　暗唱聖句　ルカ２２：３４
☆一番下の聖句をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう!

①あなたは今までに、友達に、「教会に行ってるよ」とか「教会のキャンプに行くんだ」と話そうとして、勇気が出ず、言えなかったことがあるでしょうか。そのときのことを、思い出して書いてみてください。

②34 節を読んでください。なかまの前でこんなことを言われて、ペテロはどう感じたと思いますか?

③56~60 節を読んでみましょう。・・・なぜ、ペテロはイエス様のことを「知らない」と３度も言ってしまったのでしょう。次の中で当てはまると思うものはすべて(　　)の中に○をしてください。

（　）悪いことをした人みたいにつかまっているイエス様のなかまだと思われたくなかったから。
（　）イエス様のなかまだとばれると、わたしもつかまえられるかも・・・それがこわかったから。
（　）イエス様はもしかしたら殺されてしまうかも・・・わたしは殺されたくない！と思ったから。
（　）つかまえられたイエス様を見ていると、イエス様のことが信じられなくなってきたから。
（　）今となってはイエス様についていっても、とくすることは何もない、と思ったから。

④あなたがペテロの立場なら、イエス様を知らないと言うでしょうか？　　＊はい　＊いいえ
なぜですか？

⑤61･62 節を読んでください。イエス様に見つめられ、ペテロは大失敗に気づきました。このとき、イエス様はペテロのことをどう思って見つめられたのでしょうか。　☆ヒント:イエス様ってどんなお方？

ペテロは、どんな気持ちで泣いたのでしょうか。ペテロの気持ちになって答えてください。

⑥あなたがもし、イエス様に喜ばれないような失敗や罪をおかしたなら、イエス様はあなたのことを見すててしまうでしょうか。それとも、そんなあなたをなおも愛して、立ち直る力をくださるでしょうか。32 節のイエス様のお言葉を読んで、答えてください。

⑦あなたには、まだイエス様に「ごめんなさい」と悔い改めていない失敗や罪がありますか。もしそうなら、今イエス様があなたに望んでおられることは、何でしょうか。

⇒今の気持ちを、そのままイエス様にお伝えしましょう・・・先生といっしょにお祈りしてみましょう。

♪　「あなたは三度わたしを知らないと言うだろう。」
※　「あなたは三度、わたしを知らないと言います。」
☆　「あなたは、・・・三度わたしを知らないと言うだろう。」

♪口語訳聖書　　※新改訳聖書　　☆新共同訳聖書

上級 第３課　やり直したペテロ

聖　書　ヨハネ 21:1~19　　暗唱聖句　ヨハネ２１：１９

☆一番下の聖句をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう!

①復習しましょう。ペテロはどんな大失敗をしてしまったのでしょうか。　なぜ泣いたのでしたか。

②15 節を読んでみましょう。・・・14 節までと合わせて考えると、イエス様はすぐにペテロに話しかけず、魚の場所を教えたり、いっしょに食事をしたりして、しばらく時間をおいてから話しかけられましたね。どうしてだと思いますか。次の中で当てはまると思うものはすべて(　　)の中に○をしてください。

（　）ペテロの心が深くいたんでいるので、時間をかけてペテロの心をいやしてあげたかったから。

（　）ペテロの様子を見て、本当に悔い改めたのかテストしたかったから。

（　）大失敗したペテロを、今までと同じように愛していることを、ペテロによくわからせたかったから。

（　）ペテロが「ごめんなさい」と言うのを待っていたが、待ちきれなくて話しかけた。

③17 節で、イエス様は 3 度目に問いかけなさいましたね。「3 度」というのは、何と同じ回数でしたか。

＝ペテロがイエス様のことを　（　　）と言った回数と同じ。

④17 節のまん中に、ペテロが「心をいためて」(新共同訳では「悲しくなった」)とあります。イエス様はどんなつもりで、ペテロの心をいためてまで 3 度も同じことを彼におっしゃったのでしょうか。

＝ペテロがイエス様からすでにゆるされているということが本当によくわかって、ちゅうとはんぱでなく、すっかり心がいやされて、（　　）ことができるようにするため。

⑤あなたがもし、ペテロのような大失敗をした後でイエス様から「わたしを愛しているか？」と問われたら、「はい」と言えますか。　＊言える　＊言えない　＊わからない

⇒それはどうしてですか？ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

⑥あなたがもし、今、イエス様から「わたしに従ってきなさい」といわれたら、「はい」と言えますか。

＊言える　＊言えない　＊わからない

⇒それはどうしてですか？ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

⑦あなたがこれまでにどんな失敗をしていても、また、これからどんな失敗をしたとしても、イエス様が共にいてくださるなら、「やり直す」ことができるでしょうか？　＊はい　＊いいえ　＊わからない

⇒どうしてそう思うのですか？ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

⑧イエス様が、あなたに今願っておられることは何でしょうか。三つの課をふりかえって、今、先生と一緒にお祈りしてみましょう。(イエス様は、素直な気持ちで祈るお祈りを、必ず聞いていてくださいます。)

♪　「わたしに従ってきなさい。」
※　「わたしに従いなさい。」
☆　「わたしに従いなさい。」

♪口語訳聖書　※新改訳聖書　☆新共同訳聖書

「上級」

第一課　「罪に気づいたペテロ」

●質問①　導入のための質問。生徒がリラックスすることもねらいです。つまってしまったら、先生の体験談などを話してあげてください。

●質問②　ペテロになったつもりで考えることと共に、自分自身にあてはめて考えるように導きましょう。

●質問③　ペテロは、自分自身のことをどう思ったか、については、(質問④で内容が深まることを期待し)、無理に「罪深い」などの答えを引き出さなくても、自由に考えさせればよいでしょう。

●質問④　「いいえ」と答えても良いのです。ぜひ、「それは、なぜですか?」という問いにじっくり考えることができるよう、導いてください。

●質問⑤　先生自身が、模範的な答というよりもありのままの自分をさらけ出して、心を開いて語ってあげましょう。生徒も安心するでしょう。

●質問⑥　一応、(罪)・(みとめる)を想定していますが、同じような意味ならよいと思います。

●質問⑦　もし、「がっかりなさる」と答えたら、否定しないで、なぜそう思うか、ていねいに聞いてあげてください。

●質問⑧　「はい」と答えることが出来たら、このキャンプの間に、その罪を解決していただけるように、共に祈りましょう。「はい」と答えなくても、あせらず、次の課に期待しつつ、生徒の祝福のために、また、これからのプログラムを通して恵まれるように祈って、終りましょう。

第二課　「大失敗をしたペテロ」

●質問①　導入のための質問。先生の「言えなかった」という体験、もしくは、「言えたけど、どきどきしたし、勇気がいった」というような体験があれば、ぜひ話してあげてください。

●質問②　生徒によっては、(じっくり考える時間を置いた上で)マルコ14章31節をいっしょに開いて読んでみるのも有効かもしれません。

●質問③　微妙な設問にしています。じっくり考えさせてあげてください。しいて模範解答にもっていかず、生徒への共感をもって、次の質問につないでください。(一応一つ目から三つ目が○?)

●質問④　「いいえ」と答えても良いのですが、「それは、なぜですか?」という問いにじっくり考えて答えられるよう導きつつ、「それならやっぱり『はい』」となれば、理想的だと思います。ただし、むりにそう答えさせる必要はありません。

●質問⑤　一つ目は、悲しいけれども責めはせず、なおペテロを愛されるイエス様のお心がつかめるように、導きましょう。二つ目は、「悲しくて」とか「悔い改めて」だけでなく、もう一歩突っ込んだ答えができれば良いと思います。

●質問⑥　32節のイエス様のおことばを味わって、このイエス様の祈りに今の私たちも支えられている、ということを、ぜひ伝えてください。

●質問⑦　ここで悔い改めのお祈りができれば理想的ですが、そうでなくてもあせらず、「失敗しても素直に悔い改めれば、イエス様は必ずお赦しくださる」ことを感謝し、祈って終りましょう。

第三課　「やり直したペテロ」

◎この課は特に、担当者の入念な準備を要します。

●質問①　なぜ泣いたのかについては、②の答えも考慮しつつ、自然に深めることができれば理想的です。単に「悲しかったから」とか、「失敗したから」というよりも、ペテロの感情に思いを向けてあげてください。ただし、最初の質問ですので、無理をせず、②をていねいにすると良いでしょう。

●質問②　一つ目と三つ目が○です。

●質問③　「知らない」などがあてはまります。

●質問④　「やり直す」を想定しています。この質問は、この課のテーマに関わるものですので、正解を書くだけでなく、その後もていねいに扱いましょう。あえて心が痛むほどに繰り返して話しかけることで、二度とペテロがイエス様の赦しを疑ったり、揺さぶられたりしないように、とのイエス様の愛から来ていることが、生徒に良くわかるよう、先生のことばで説明してあげてください。

●質問⑤・⑥　どの答えを選んだとしても、生徒自身の思いを大切にし、どうしてそう思うのかをていねいに聞いてあげてください。生徒によっては、先生自身が心を開いてありのままの証をなさると、なおよろしいかと思います。

●質問⑦　ここでも、⑤⑥のように心がけてください。先生の確信が生徒に伝わればいいですね。

●質問⑧　お祈りの前に、今心に示されていることや、将来のビジョン、このキャンプで学んだことなどを話し合うのもよいでしょう。キャンプで最も心に残るお祈りのときとなりますように・・・。